

鴨川市教育委員会 7 月定例会会議録

1 日 時 平成23年7月19日(火) 開会 午前10時10分
閉会 午前11時40分

2 場 所 天津小湊支所2階会議室

3 出席委員 (1) 佐久間秀子 (2) 佐々木久之 (3) 根本新太郎
(4) 村上 修平 (5) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 福田 典白 (2) 滝口 悦夫 (3) 小倉 茂
(4) 黒野 雅典 (5) 原 一郎

5 委員報告

- ・村上委員から、南房総教育事務所長訪問に関して、長狭学園では小学校と中学校の教員が協力して指導方法を工夫しながら指導していたが、教師が楽しそうに子どもに接することで子どもたちも楽しく学んでいたことに感銘を受けたこと、江見小ではグループ討議の場面で日常の指導の成果が表れていると思える子どもたちの姿が見られたこと、両校の理科学習を見て学習進度のずれが気になったこと、県立美術館の研修視察では美術館の職員が丁寧に説明してくださり充実した研修ができたことについて、報告がなされた。
- ・根本委員から、所長訪問に関して、長狭学園の児童生徒は保育園から中学校卒業まで同じ仲間でも過ごしており中一ギャップはないが、中学校卒業後のギャップに適應できる力を育成していく必要があると考えたこと、江見小の教室には換気扇がついていなかったが、子どもの生活環境について公平性をどう担保するかが課題だと考えたこと、県立美術館の視察で日本のゴッホとも言われる山下清画伯は12歳で八幡学園に入園したが、そこで絵の指導を受けたことが画家として活躍するきっかけとなったことを知り、本市の先生方も子どもをよく見て、その子のよさを伸ばすことに心して取り組んでほしいと考えたこと、本市で美術館を持つことのメリットは多いことについて、報告がなされた。
- ・佐々木委員から、所長訪問に関して、長狭学園では恵まれた教員数の中でティーム・ティーチングなどにより充実した教育が展開されているが、休憩時間に小・中でずれがあり授業の準備に余裕がないことが気になったこと、太海小は1年生が2名、2年生が7名と少なく、少子化問題にどう対応していくかを考えていく必要があること、同校では電子黒板が有効に活用されたいこと、県立美術館の視察で本市でも移動美術館を開催できないかと考えたこと、山下清画伯の生涯から先生との出会いが大切であ

ると考えたことについて、報告がなされた。

- ・佐久間委員から、太海幼小の所長訪問に関して、太海幼稚園は5歳児5名と園児が少ないが活発に活動していたこと、今後江見地区の幼稚園、小学校の適正規模について検討を進めていく必要があること、少人数の太海小から比較的大規模の鴨川中に入学する子どもに、異なる環境に適応できる能力を育てていく必要があること、県立美術館視察では本市で大規模な移動美術館を開催できればよいと考えたこと、山下清画伯のすばらしい作品から大きな感動をいただいたことについて、報告がなされた。

6 教育長報告

- ・長谷川教育長から、2日間にわたり市内小中学校長と目標申告面接を実施し、各校長に具体的な数値目標を設定して達成度を明確かつ具体的に把握できるようにすること、目標はそれぞれの課題を踏まえて、あくまでも本人が十分吟味した中で設定することなどについて指導したこと、薬王院薬師堂修復工事の契約が結ばれたことに関して、この工事は国・県850万円、市375万円の補助金を活用して行われるが、残り約1,200万円は地元が負担することになっており、地元の熱意がなければ実施できない事業であること、水田杯少年野球大会が城西国際大学の主催で安房地区少年野球チームの参加を得て、今年度より開催されたことについて、報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・質疑なく、全員の了解が得られた。

7 議 事

(1) 議案第1号 「平成24年度使用教科用図書の採択について」

- ・佐久間委員長から、議案第1号については、鴨川市教育委員会会議規則第14条第5号「会議を公開することにより教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項」に基づき、「非公開」としたいこと、採択事務の終了する8月31日まで採択結果を公開しないことに関して提案がなされ、全員の同意が得られた。
- ・福田教育次長から、安房採択地区協議会の選定を受け、平成24年度に使用する中学校教科用図書及び学校教育法附則第9条による一般図書を採択することについて、資料をもとに説明がなされた。
- ・長谷川教育長から、同協議会では専門調査員による各教科用図書の調査結果の報告を受けて、採択地区協議会委員が十分協議をし、選定がなされたとの説明がなされた。

- ・根本委員から、同じ教科で小中学校の出版社が異なる場合の問題点に関する質問があり、長谷川教育長より教科用図書は学習指導要領に基づき作成され、文部科学省の検定を受けており整合性は担保されていること、現場の教員が実際作成された教科用図書の内容を調査しても支障はないと考えていることから、小中学校で異なる出版社の教科用図書を使用することに関しては特に問題はないとの説明がなされた。
- ・根本委員から、採択地区内のいずれかの教育委員会が選定結果に同意しない場合の対応に関する質問があり、長谷川教育長より同意が得られない理由をもとに、再度同協議会で協議することになるとの説明がなされた。
- ・議案第1号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

(2) 議案第2号 「平成22年度教育委員会の点検と評価について」

- ・福田教育次長から、前回定例会議での協議を基に一部修正した「教育委員会の点検と評価」を地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に基づき議会に提出することについて、資料をもとに説明がなされた。
- ・根本委員から、記載上の記号に関する質問があり、福田教育次長より1ページに付けた◇は必要のないものであることから削除すること、平成23年度の点検と評価については第2次5か年計画に基づく新規の評価項目となることから、評価様式や方法についても再度検討していくとの説明がなされた。
- ・議案第2号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

8 その他

- (1) 各課長から、資料をもとに8月の行事予定についての説明がなされた。また、滝口学校教育課長から、8月の定例教育委員会会議について説明がなされ、8月22日(月)に開催することになった。
- (2) 村上委員から、学校教員に対するICT利活用研修に関する質問があり、福田教育次長より、ICT利活用を進めるため、各小中学校担当者等によるICT利活用推進委員会を設置し、職員に対する研修や活用に関する諸課題、活用できるソフトウェアについて協議していること、夏季休業中にも同委員会を開催し、これまでの各小中学校の研修を含めた取り組み状況等について報告を受けることになっている

との説明がなされた。

- (3) 村上委員から、BSプレミアムで放送中の「食べてニッコリ ふるさと給食」を参考に、本市の食材を使用した特色ある献立を学校給食に取り入れてほしいとの意見が出された。

佐久間委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成23年8月22日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 福田典白